

「情報システム最適化の取組方針（第2期）（案）」の概要

1 これまでの取組

- 期間：平成 25 年度～平成 29 年度（5 年間）
- 対象：道（警察本部を除く。）の情報システム及びパソコン
- 取組
 - ・庁内の情報システムの統合・効率化 → 道全体の IT 関連経費の縮減
 - ・環境変化に対応した整備・更新、安定的な運用、機能・性能の向上

① IT 予算の一元化

② ネットワークの統合

③ サーバーの最適化

④ 個別システムの最適化

⑤ 大型汎用機の最適化

⑥ パソコン調達の一元化

○ 課題

- 情報システムの質の一層の向上（情報セキュリティと利便性との両立）
- 未電算業務の ICT 利活用（ICT 利用で効率化される業務の掘り起こし）
- ICT 技術の積極的な活用（働き方改革の推進、AI など新しい技術への対応）
- 情報システムの運用能力の向上（問題点の確認、情報システムや業務の改善）
- 費用対効果の観点の強化（導入効果の検証）

これまでの取組と課題を踏まえた上で、環境変化への対応

2 情報システム最適化の取組方針（第2期）

- 期間：平成 30 年度～平成 33 年度（4 年間）
- 対象：道（警察本部を除く。）の情報システム及び関連機器並びに情報システムが取り扱うデータ等（予算付けのないシステムも含む。）
- 目的：利用者側の視点を十分に踏まえたサービスデザイン思考に立って、情報セキュリティ対策と利便性を両立させながら、情報システムの質の向上を図り、道の施策・業務の効果を一層発揮させることで、「道民への行政サービスの向上」を図る。
- 取組

情報システムの質の向上

- 情報システムの利便性向上
（操作性や機能向上）
 - ・インターネット接続環境
 - ・各庁内システムの利便性向上など
- 情報セキュリティ対策との両立



ICT の利活用推進

- 未電算業務の ICT 利活用推進
 - ・業務棚卸し・分析・BPR
 - ・情報化相談窓口
- 政策立案等における ICT 利活用推進
 - ・データ棚卸・取扱レベル整理
 - ・庁内データ共有・活用促進
- インターネット公開系の ICT 利活用推進
 - ・オープンデータ化・電子申請
- 様々な ICT 技術の活用検討
 - ・テレワーク・モバイルワーク
 - ・タブレット・Wi-Fi など環境検討
 - ・AI など新技術の調査・活用検討

全体最適化

- 情報システム診断
 - ・予算前 ・調達前
 - ・構築時（レビュー）
- ICT 予算の一元化
 - ・大規模システム等の予算
 - ・PC の一括調達
- ネットワークの最適化
 - ・既存ネットワークの活用・改善
- クラウド・バイ・デフォルト
 - ・クラウド利用の推進
- サイジングの最適化
 - ・汎用機プログラムのサーバ移行継続

業務の効率化・情報セキュリティレベルの向上

道民への住民サービスの向上！